

中心市街地整備計画構成(見直し案)

0 まちづくりの再スタート

- ・今、まちづくりの再スタートが必要
- ・再スタートの方向性



1 まちづくりの取組み

1-1 まちのコンセプト

【コンセプト】

楽しみ 生まれ 続ける Re:MACHIDA

【目指すこと】

○取り組みによって目指すこと

- ① 駅が快適になる ⇒ 町田に来たくなる
- ② 来街目的・様々な楽しみが増える ⇒ まちに出たくなる
- ③ 滞在時間が増える ⇒ まちで過ごしたくなる
- ④ 交流・出会いが増える ⇒ まちで出会いがある
- ⑤ 暮らしが多様になる ⇒ 暮らしが楽しくなる
- ⑥ 人通りが増える ⇒ また、町田に来たくなる

○過ごし方イメージ



○エリア毎の将来イメージ

1-2 プロジェクト【PJ毎に目的・内容・進め方を記載】

- ・いくつかの確実に具現化したい内容を、プロジェクトに仕立てて実行する
- ・プロジェクトの関係主体と目的とシナリオを共有し、協働の体制を構築

■ 地元協働や規制誘導導入により、既存の特性・資源を活かしながらまちを新陳代謝させる

- 1 駅前大規模商業施設の更新推進
- 2 界索性・雑多性のある商店街づくり
- 3 多機能育成・都市型居住まちづくりの推進

■ 拠点的な整備を通じ、中心市街地の構造的課題解決・必要機能導入を図る

- 4 広域交通拠点の整備
- 5 文化芸術拠点の整備
- 6 原町田一丁目地区拠点施設整備
- 7 森野住宅周辺地区団地再生に伴うまちづくり

■ 公共空間や公共施設を核に、新たな取り組みを連鎖させ、魅力を波及させる

- 8 文学館通り～芹ヶ谷公園の周辺まちづくり
- 9 原町田大通りにぎわいと憩いの空間形成

■ まちの新たな担い手の発掘、まちの空間の新たな活用の仕組みをつくる

- 10 官民連携まちづくり

2 プロジェクトの進め方

- (1) これからのまちづくりの進め方
 - ① 既存資源の活用
 - ② 担い手の拡大
 - ③ 柔軟かつ広がりある進め方
- (2) まちづくりの進め方イメージ

【参考】
 施策・事業方策
 メニュー